

平成26年度 協働事業振返り調査票

協働事業の名称 男性育児参画促進事業

所属名(団体名) 保育支援課

1 事業の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働相手の選定(市) 協働相手を公募しましたか。公募しない場合は、選定理由を明確にしましたか。	5	市民協働提案事業として、公募。
1-2 協働相手の選定(団体等) この事業の協働相手として自分の団体はふさわしい団体でしたか。		
2 目的の共有 事業の目的・目標を共有しましたか。	4	男性の子育てを支援するという目的は共有した。
3 目的・目標の達成 事業の目的・目標は達成できましたか。	4	すぐに効果は出ないが、概ね達成できた。
4 事業実施中の意見や情報の交換 適宜、意見や情報の交換を行い、必要に応じ協議事項の見直しを行うなど、柔軟に対応できましたか。	4	適宜、情報交換や打ち合わせを行った。
総合コメント 講座やイベントの参加者のアンケートで、高い評価を得られたため、今後も継続して事業を実施していきたい。		

2 協働の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働の形態の選択(市) 選択した協働の形態(委託、共催、事業協力、支援・補助)は適切でしたか。	4	協働という形で適切であった。
1-2 協働の形態の選択(団体等) 自らの特性を活かせる連携方法でしたか。		
2 協働の意義の明確化 協働で実施する必要性やねらいを明確にしましたか。	5	NPOが持つ多様な知識や経験を活かし、市と協働で実施することで、男性の子育てを支援するというねらいを明確にした。
3 主体性・自主性の尊重 お互いを理解し、尊重して事業を進めましたか。	5	講座やイベントなどで役割分担して事業を進めた。
4 役割と責任の自覚 役割分担や責任の所在が明確でしたか。	5	広報や関係機関との連携や受付などは市が行い事業実施はNPOが行った。
5 協働の成果 協働ならではの成果はありましたか。また、副次的な効果はありましたか。 副次的効果：会員が増えた、会員や職員の育成につながった、新たな事業展開や課題解決方法が見つかった等	4	NPOが持つ知識や経験と、市が持っている広報方法や関係機関との連携力を、お互い生かすことができた。
総合コメント お互いの長所を生かしながら、協働して事業を実施できた。		

この振返りは、協働事業を行った双方が、協働事業への理解を深め、良好なパートナーシップを構築することにより、お互いに成長し、また、よりよい協働事業の発展につなげるために実施するものです。得点の高低や事業の優劣をつけるものではありませんので、率直な意見を記入してください。